

日記の一ふし

記念すべき大正十年三月三日！此日日本皇太子殿下には軍艦香取にていとも目出度御渡歐の途に就かせらる無心の幼児等も我等と共に謹みて御安著を祈り奉りました桃のお節句も一しは喜ばしき心もて迎へられました。

遊戯室の正面には雛段をつくりお雛様を飾り子供等の心こめたる紙のお菓子をも供へました。午前十時より幼児等は皆愉快な顔をして茲に集ひ此日の主人役T子嬢の挨拶、客人としてS君の答辭あり、次から次へと交る交る出て、勇ましく談話唱歌遊戯獨奏等を致しました。最後に園長先生の御話があり先生には此朝お早く御出園總代として殿下を御見送りなされました故、其の實況を委しく御話下さいました。其れより辨當を濟ませ、食後思ひ思ひにおひなさまの許に集りいろいろの遊を致しました其の謎々の遊に付て子供等の申しました事を二三記して見ませう。

や よ い

- 一、朝早く起きお早うと云つて顔を赤くし夕方さよならと云つて又赤くするものは、？
 - ……太陽。
 - 二、形の見えないでサー／＼と云ふ者？……風カゼ
 - 三、雪が降ても雨が降ても赤くなつて立て居る者は？……郵便函
 - 四、吸はれて擲かれる者は？……煙管。
 - 五、仕舞て置けば小なくなり出せて大きくなる者は？……掛軸。
 - 六、夏になり土中より出て、人を刺す者？……蟻。
 - 七、朝早く起きて唱ふものは？……鶏
 - 八、白粉つけて竹馬に乗て居る者は？……くしがき。
 - 九、早く起きて働く者は？……女中。
 - 一〇、いつも水の上に住む者は？……船。
- 午後はお豆炒を紙製の箱の中へ入れて與へました。